



学校便り はぎ

令和2年度 No. 8

発行：令和2年10月30日
東村山市立萩山小学校
TEL 042-391-8116
FAX 042-397-5405

止めよう差別の感染 広めよう感謝の心

生活指導主任 松本 悠司

先日は、運動会にご来校いただき、ありがとうございました。今年度は運動会の開催にあたり、コロナウイルス感染対策を第一に考えなくてはならなかったため、校内でもたくさんの協議を重ねてきました。本校の運動会に関して、当然賛否両論もあったと思いますが、無事に全行程を終了することができました。これも、保護者やPTA、地域の方のご協力があったからです。子供たちの幸せのために、ご尽力・ご支援いただき本当にありがとうございました。今後も、例年のように学校行事を行うことは大変難しいですが、この難局の中でも子供たちが明るく、そして成長できるような教育活動を届けることができるよう、教職員一同努力と工夫を重ねていきます。

さて、明日から11月に入ります。今月は、「ふれあい月間」です。東村山市では、学校いじめ対策委員会年間活動計画に基づき、6月・11月・2月を強化月間と位置付け、いじめ根絶に向けてアンケートの聞き取り・面談・指導を通して、働きかけていきます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症が全国に感染拡大する中、感染者・濃厚接触者・医療従事者・社会機能の維持にあたる方等とその家族に対して、差別や偏見につながるような行為が起きています。

現在本校では、上記のような不当ないじめにつながる事案の報告はありません。しかし、マスクの着用による子供たちの同士の表情が見えにくいこと、互いが距離をとり合って生活していること等、コロナウイルス感染予防による新しい学校の生活様式によって、子供たち同士の人間関係が例年より微妙に変化していることが予想されます。その変化が、今後のいじわるに繋がるとも限りません。

偏見や差別を生む原因は、「不安」です。

そして、その「不安」のもとには、人の「無知」「無理解」「無関心」だと思っています。「不安」を解消するためにも、正しい情報を得ること、悪い情報ばかりに注目しないこと、差別的な言動に同調しないことが大切です。偏見や差別を絶対許さない人を本校では育てていきます。

保護者の皆様へ お子様と一緒に読んでください。



